



「地理空間情報課ラボ」（ウェブサイト）を立ち上げます ～実験的取組の加速化及び産学官のユーザーコミュニティの構築を目指して～

地理空間情報課では、地理空間情報を巡る最新動向や先進技術、これまでの手法によらないアイデアを政策に積極的に取り入れるため、アイデアの拾い上げや産学官の多様な人材との双方向コミュニケーションを行う「場」として、「地理空間情報課ラボ」を立ち上げました。

1. コンテンツ概要

地理空間情報課ラボにて取り上げるコンテンツは下記の通りです（今後、随時追加予定）。

①実験的取組の紹介

地理空間情報課が行っている実証実験等について、担当職員が随時情報発信を行います。検討状況をリアルタイムで共有し、皆様からアイデアやコメントを募集することで、双方向のコミュニケーションを図ります。

【同課の実証実験等の例】

不動産登記ベースレジストリの利活用検討、筆界データ活用実証、AI等の先進技術を用いた国土数値情報整備手法の高度化検討、三次元人流データの活用検討、地理空間情報データチャレンジ、地理空間情報の連携環境の構築に向けた予備調査 等

②データ連携に関する課題解決アイデア募集「GeoSynergy Linkage Hub」の実施

多様な地理空間情報を連携させることが課題となっていることから、地理空間情報課では地理空間情報を正確かつ容易に連携させる環境の構築に取り組んでいます。その過程で生じた課題を問題形式で出題し、産学官の多様な人材から課題解決アイデアを募集します。

優れたアイデアについては、同ラボのスペシャルサポーター（学術、自治体、民間企業等の多様な分野で活躍する地理空間情報のエキスパートから構成）が「地理空間情報課ラボ」として認定し、本ウェブサイトで紹介するとともに、今後施策立案において活用させていただく場合もありますので、ぜひ奮ってご応募ください。

- 一次募集：2024年11月22日（金）～2024年12月27日（金）
- 二次募集：2025年1月6日（月）～2025年1月31日（金）

2. ロゴ



ロゴマークは、「意見箱から輝くアイデアを拾い出す」をコンセプトとしています。緑と黒のパーツは、「双方向コミュニケーションの矢印」、ラボの「L」、「ユーザーの投稿アイデアを入れた箱」、青の四角形は、「アイデア箱から拾い上げられた斬新なアイデア」をイメージしました。

取組概要や募集要項等の詳細は、以下HPをご確認ください。

- ◆「地理空間情報課ラボ」ホームページ
<https://www.mlit-gis-lab.jp/>
- ◆「地理空間情報課ラボ」X公式アカウント
https://twitter.com/GISLab_MLIT



【問い合わせ先】

政策統括官付 地理空間情報課

03-5253-8111（代表）03-5253-8353（直通）
米倉（内線：29-835）、奈須（内線：29-825）